

山形はきのこの如し五十年滑りしを不
れる
しめあへるおろちのごとき藤曼に思見えさうな箱
(横浜市)内山 汀子

「じゆすだま」 日巻良子
(なのはなきりえの会)

のテータへースに収録
す。

目が不自由な音楽家が演奏会

「音色聞き理解深めて」

市川で10日

目が不自由な音楽家の演奏で視覚障害者への理解を広めようと、市川市内で活動するNPO「楽譜点訳の会ポコ」が10日午後2時から、同市真間4丁目の木内ギャラリーで無料の演奏会を開く。点訳などを通じて交流を深めた目の不自由な奏者が力強く華麗な音色を披露する。代表の長谷川明子さん(67)は「彼らの音色はどんな説教や勉強よりもエネルギーを与えてくれる。ぜひ子どもたちに聴いてもらいたい」と来場を呼びかけている。

長谷川さんは知り合いの視覚障害者の苦勞話や優れた点をよく話す。腹部の治療のために手術台で下半身麻酔をかけられた時に感じた恐怖や、手を近づけると自動で蛇口から水が出る洗面台で水びたしになったこ

と……。「涙を流しながら聞く子もいる。何かを学んでくれたのでは」。障害者に直接会ってさらに理解を深めてもらおうと演奏会を企画した。演奏会では、点訳を通じて10年近くつき合うフ

ルトの綱川泰典さんと、メンバーの勉強会の講師なども務めるギターの服部浩二さんが共演する。「聖しこの夜」をはじめとするクリスマスなどの定番や、クラシックやドラマ主題歌など十数曲をトークを交えながら披露する。演奏会は来年3月にも予定。問い合わせは長谷川さん(☎047・372・4038)へ。



「年賀状早めに」
ゆず湯でPR
茂原郵便局

15日の年賀状受け付け開始を前に、茂原市の茂原郵便局(高橋久雄局

「住民交え議論の場を」の異論 利根川水系有識者会議が初会合

利根川水系の河川整備計画策定に向け、国土交通省関東地方整備局が地域ごとに設けた五つの有識者会議のうち、本川の利根川・江戸川の初会合が4日、東京都内で開かれた。学者や地方新聞幹部に委員を絞った同整備局の方針について、当の委員から「時代にそぐわない。住民を交えた議論の場を」などと異論が噴出。結論を急ぐ同整備局の姿勢を懸念し、技術的な議論を十分行うよう求める声も相次ぐなど、異例の幕開けとなった。

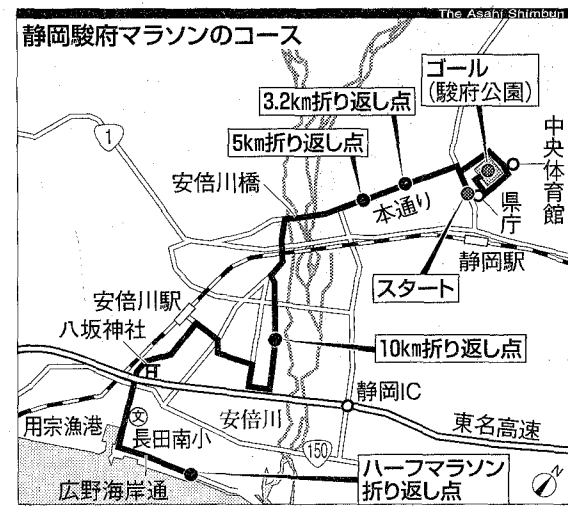
を防ぐ治水安全度に引き上げる整備目標を説明。八ツ場ダム(群馬県)や南摩ダム(栃木県)の整備に理解を求め、住民の意見は公聴会を20カ所程度開くなどして反映させ

ると強調した。しかし、地方新聞論説委員の委員が「30年間の計画を決めるのに、この会議は簡単に進むプログラムになっている。公聴会を開くというが、今の

時代はそんなに甘くない」などと批判。流域住民や市民団体の代表者も議論に参加させるべきだと強く主張し、同調する意見が続いた。研究者の委員からは、治水や環境保全の目標設定をめぐり、さらに詳細

ポコは長谷川さんが地元で呼びかけて90年に設立。女性を中心に約30人が、目が不自由な音楽家らから注文された楽譜の点訳に取り組んでいる。長谷川さんはボランティアについて話す講師として地元の小中学校に招かれ、子どもらと接する機会が多い。それだけに、いじめや差別といった教育現場にあふれる問題に気をもむ。日常接する視覚障害者たちが「劣っていると重なるからだ。

同整備局河川部は、計画期間がおおむね30年間で、本川を50年に1度、支川を30年に1度の洪水



早春の静岡市を走る「第32回静岡駿府マラソン」を07年3月4日(日)に開催します。静岡県庁前をスタート地点とし、駿府城跡にある駿府公園をゴールとする市民マラソンで、例年、県内外から8千人以上のランナーが集まります。安倍川ぞいを走るコースからは、富士山も望めます。コースはアップダウンが少なく、初心者でも楽しめる。出場者全員に参加賞として特製スポーツタオルをプレゼントするほか、制限時間内